

—Special Section on Recent Progress in
Nonlinear Theory and Its Applications—

We are pleased to announce the special section of IEICE's journal, "Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE" to be published in October, 2013. The major part of this issue will consist of the special section focusing on recent progress in the field of nonlinear theory and its applications.

The topics of interest within the scope of this Special Section include, but are not limited to, the following areas :

Chaos and Bifurcations	Chaotic Neural Networks
Circuits and Systems	Oscillations
Cellular Neural Networks	Self-Validating Numerics
Synchronization	Learning and Memory
Modeling and Simulations	Coupled Oscillators
Prediction and Identification	Large-Scale Networks
Communications	Image and Signal Processing
Analog and Digital ICs	Chua's Circuits
Neuro Dynamics	Distributed Networks
Control	Evolutionary Computation
Power Systems	Complex Systems
Optimization	Robotics
Fractals	Fuzzy
Optics	Solitons
Biocybernetics	Chemistry
Applied Mathematics	Economics
Physics	Biomedical Data Processing
Biomedical Engineering	Bioinformatics
Complex Networks	Computational Neuroscience
Social Dynamics	

The submitted papers are edited by the Editorial Committee of the Special Section. The deadline of the paper submission is January 10, 2013.

Prospective authors are requested to follow carefully the submission process described below :

- (1) Prepare manuscripts according to the guidelines described in the web page :
<http://www.nolta.ieice.org/data/authors.html>
The LATEX style file and template file can be downloaded from this page.
Papers do not usually exceed 30 pages of an A4-sized PDF file.
- (2) Submit manuscripts through the IEICE paper submission system at :
https://review.ieice.org/regist_common_e.aspx?society=NOLTA
Authors should choose "[Special-EN] Recent Progress in Nonlinear Theory and Its Applications" as a "Type of Issue (Section)/Transactions" on the line screen. Do not choose "[Regular-EN]".
- (3) Send "Copyright Transfer and Page Charge Agreement"

and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by E-mail, FAX or postal mail to the following address :
Hiroo Sekiya
Graduate School of Advanced Integration Science,
Chiba University,
Yayoi-cho 1-33, Inage-ku, Chiba, 263-8522, Japan
E-mail : sekiya@faculty.chiba-u.jp
FAX : +81-43-290-3258 (please attach a cover sheet indicating the sender's name)

The article charges until 30 pages :

One of the authors is a member of IEICE : 60,000 JPY
Otherwise : 65,000 JPY

Please do not forget to send "Copyright Transfer and Article Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" January 10, 2013.

We cannot start the review process without them, even if we receive the manuscript.

For additional guidelines on manuscript preparation, please visit the following site :

<http://www.nolta.ieice.org/data/authors.html>

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit manuscript. However, we recommend that authors unaffiliated with IEICE apply for membership :

<http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

- Guest Editors :
Claudio Mirasso (Universitat de les Illes Balears)
Tohru Ikeguchi (Saitama University)
- Guest Associate Editors :
Yanne Chembo (FEMTO-ST Institute)
Ingo Fischer (IFISC, Consejo Superior de Investigaciones Cientificas)
Daniele Fournier (INSA-DGEL)
Hisato Fujisaka (Hiroshima City University)
Jordi Garcia-Ojalvo (Universitat Politècnica de Catalunya)
Mikio Hasegawa (Tokyo University of Science)
Masayuki Kimura (Shiga Prefecture University)
Hiroyuki Kitajima (Kagawa University)
Kunihiko Mitsubori (Takushoku University)
Hiroya Nakao (Tokyo Institute of Technology)
Marco Storace (University of Genova)
Satoshi Sunada (Kanazawa University)
Yoshihiko Susuki (Kyoto University)
Peter Szolgay (Hungarian Academy of Sciences)
Ljiljana Trajkovic (Simon Fraser University)
Akio Tsuneda (Kumamoto University)
Atsushi Uchida (Saitama University)
Kazuyuki Yoshimura (NTT Communication Science Laboratories)
- Associate Editors of NOLTA, IEICE :
Shinji Doi (Kyoto University)
Orla Feely (University College Dublin)
Yoshihiko Horio (Tokyo Denki University)

Takehiko Horita (Osaka Prefecture University)
Heinz Koepl (EPFL)
Keiji Konishi (Osaka Prefecture University)
Fabio Pareschi (University of Ferrara)
Isao Tokuda (Ritsumeikan University)
Hiroyuki Torikai (Osaka University)
Chi K. Tse (Hong Kong Polytechnic University)
Chai Wah Wu (IBM T.J. Watson Research Center)
• Secretaries of the Special Section :
Hiroo Sekiya (Chiba University)

——スマート通信・マルチメディアシステム
小特集 (英文論文誌 A) 論文募集——
スマート通信・マルチメディアシステム
小特集編集委員会

英文論文誌 IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences では、スマート通信・マルチメディアシステム小特集 (Special Section on Smart Multimedia & Communication Systems) を 2013 年 11 月号に掲載します。電子情報通信学会スマートインフォメディアシステム研究専門委員会 (委員長 尾上孝雄) は、特にアジア圏における通信システム分野、マルチメディアシステム分野を対象として、2012 年 9 月に 2012 International Workshop on Smart Info-Media Systems in Asia (SISA 2012) を開催致しました。本ワークショップで発表された質の高い優秀な論文を中心として、広く多方面から関連の最新研究成果を集積することにより、当該分野の更なる発展に貢献することを目的としています。下記対象分野に関するオリジナルの論文を募集しますので、奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

次に挙げる分野及びそれに関連する分野

スマート無線通信システム/コグニティブ通信システム/知的ソフトウェア無線/マルチメディア無線通信/OFDM システム/CDMA システム/知的通信システム/UWB 通信/知的モバイルシステム/電力線通信/RFID/音声信号処理と符号化/画像信号処理と符号化/画像通信技術/音響信号処理/セキュア信号処理/知的マルチメディア信号処理

2. 論文の執筆と取扱い

原則として、PAPER は刷り上がり 8 ページ以内、LETTER は 2 ページ以内とします。論文スタイルなどの詳細については、Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) を御参照下さい。本小特集では、論文スタイルから著しく逸脱したものやページ数を超過したものは、そのことを理由に採録しないことがあります。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載される場合があります。投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなくてはなりません。採録された場合、論文別刷りを購入して頂くことになりますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿要領

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

- (1) オンライン投稿システム https://review.ieice.org/regist_e.aspx により、2013 年 1 月 21 日 (月) までに御登録・御投稿下さい。その際、"Type of Issue (Section)/Category

of Transactions" の項目で、"[Special-EA] Smart Multimedia & Communication Systems" を選択して下さい。"[Regular-EA] Fundamentals" や他の特集を選択しないように御注意下さい。

- (2) "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" と "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" に必要事項を御記入の上、2013 年 1 月 25 日 (金) までに、下記宛て送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンし PDF 化したもののメール添付のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

送付先：吉澤真吾

〒090-8507 北見市公園町 165

北見工業大学工学部電気電子工学科

TEL & FAX [0157] 26-9284

E-mail : yosizawa@mail.kitami-it.ac.jp

4. 小特集編集委員会

委員長 伊藤良生 (鳥取大), 末竹規哲 (山口大)

幹事 吉澤真吾 (北見工大), 笹岡直人 (鳥取大)

委員 浅野 晃 (関西大), 尾上孝雄 (阪大), 田口 亮 (東京都市大), 棟安実治 (関西大), 黒崎正行 (九工大), 川村 新 (阪大), 目黒光彦 (日大), 舟木慶一 (琉球大), 尾知 博 (九工大), 岡田 実 (奈良先端大), 眞田幸俊 (慶大), 田中宏和 (東芝), 波多浩昭 (NTT コミュニケーションズ), 金森康和 (愛知県立大), 筒井 弘 (京大), 木村誠聡 (神奈川工大), 武田茂樹 (茨城大), 黒木祥光 (久留米高専), Kosin Chamnongthai (KMUTT, Thailand)

——光応用電磁界計測技術の最新動向小特集
(和文論文誌 B) 論文募集——

光応用電磁界計測技術の最新動向小特集編集委員会

光技術を用いた電磁界計測の研究・開発が行われています。これは、光ファイバを用いた信号伝送による高絶縁性や低損失性、電波領域の 100 倍以上の広帯域性、誘電体光学素子の利用による低じょう乱性などの特徴に着目したものです。

また最近では、近接場領域や THz 帯域での電磁界計測にも適用範囲が広がっています。一方で、近年の電波利用の高度化により情報のマルチメディア化、通信や放送のプロードバンド化・ユビキタス化、及び計測の遠隔・自動化などの恩恵を受けていますが、その反面、電子機器の高性能化により不要電磁エネルギーの発生や機器相互間の影響のメカニズムが複雑化し、その解析と抑制を目的に光を用いた電磁界計測技術が期待されております。

以上のような現状を踏まえて、本小特集 (平成 26 年 3 月号) では、最新の光応用電磁界計測の理論や光応用電磁界技術を用いた計測などを軸に様々な視点から論文を募集し、新たな研究成果を発掘することを目的に小特集を企画致しました。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

光技術を用いた電磁界計測に関する分野全て

マイクロ波フォトニクス, 光ファイバ応用工学, 光エレクトロニクス, マイクロ波工学, センサ工学, アンテナ計測, 環境電磁計測, 電子回路計測, 電気回路計測, 電力システム監視, THz 帯計測, プラズマ計測, イメージング, レーダ電磁界計測システム, 光計測システム, 環境電磁計測システム, 光源, プローブ・

センサ、遠隔計測システム、光ファイバシステム光信号伝送技術、信号復元技術、走査機械制御技術、画像処理技術など

2. 論文の執筆と取扱い

- 通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。
- 査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切：平成 25 年 6 月 10 日（月）厳守

最終判定予定：平成 25 年 11 月中旬

発行月：平成 26 年 3 月号

4. 投稿方法

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification registration completion）が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正／削除、電子投稿（原稿のアップロード）画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先：

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

E-mail : wabun-b@ieice.org FAX [03] 3433-6616

5. 小特集編集委員会

委員長 陳 強（東北大）

編集幹事 大西輝夫（NTT ドコモ）

編集委員 黒川 悟（産総研）、村田博司（阪大）、藤井 隆（電中研）、深沢 徹（三菱電機）、岩波瑞樹（NEC）

6. 問合せ先

大西輝夫（株）NTT ドコモ 先進技術研究所

〒239-8536 横須賀市光の丘 3-6

TEL [046] 840-6230

E-mail : teruo.onishi@m.ieice.org

——マイクロ波・ミリ波システムのための

最新技術小特集（英文論文誌 C）論文募集——

マイクロ波・ミリ波システムのための
最新技術小特集編集委員会

社会生活における ICT の普及に伴い日常生活での情報通信機器の活用が不可欠となりつつある一方、より高度なサービスを安心・安全に安定して提供可能とするための技術革新が求められています。これは、スマートフォンの普及に起因する通信容量増

大、スマートグリッドによるエネルギー効率の向上、セキュリティ強化やヘルスケア意識の増進、災害時の迅速な通信インフラの復旧等、多岐にわたる場面での対応において見受けられるものであり、この中において無線通信や電波を活用したシステムを構成する最新の技術やサービスは大きな役割を果たすものです。そこで、無線通信で利用されるマイクロ波帯をより有効に活用するための技術、より高い周波数帯の利用を可能とする技術、電波を活用したセンサやイメージング技術及びエネルギー応用技術などに関連したマイクロ波及びミリ波帯での最新の研究成果を俯瞰しこれらの技術の更なる発展に寄与することを目的として本小特集（平成 25 年 10 月号）を企画しました。奮って御投稿下さるようお願い致します。

1. 対象分野

以下に示しますマイクロ波及びミリ波帯のトピックスが主な対象分野ですが、これらに限定するものではありません。

- 受動素子、能動素子
- 能動回路（発振器、通倍器、分周器、混合器、増幅器など）
- 受動回路（フィルタ、共振器、ハイブリッド、メタマテリアルなど）
- ミリ波／マイクロ波センサ技術やイメージング技術
- マイクロ波エネルギー応用技術
- アンテナ及びその集積化技術
- 実装技術及び RF 用基板技術
- シミュレーション技術
- IC 及び RF モジュール評価技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がり PAPER 8 ページ、BRIEF PAPER 4 ページ以内（厳守）とします。

詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1 : https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で、[Special-EC] Special Section on Emerging Technologies and Applications for Microwave and Millimeter-wave Systems を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2 : 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール（推奨）あるいは FAX、郵便にて送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 2 月 15 日（金）必着

5. 問合せ先及び書類送付先

幹事 加屋野博幸

(株)東芝研究開発センター機能材料ラボラトリー

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町 1

TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1286

E-mail : hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

6. 小特集編集委員会

ゲストエディタ：中津川征士（NTT）

幹事：加屋野博幸（東芝）

委員：伊山義忠（熊本高専），ウリントヤ（豊橋技科大），河合正（兵庫県立大），金ミンソク（東工大），柴田幸司（戸工大），關谷尚人（山梨大），中谷俊文（パナソニック），中村宝弘（日立），西川健二郎（鹿児島大），長谷川弘治（室蘭工大），枚田明彦（NTT）

7. 小特集の海外配布

本小特集は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 付記

＊論文採録の場合には掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

＊投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——システム開発論文特集

（和文論文誌 D）論文募集——

システム開発論文特集編集委員会

情報・システムサイエティ和文論文誌では、既存技術の組合せであってもイノベーションとして新たな価値を生み出すシステム開発の重要性に焦点を当てるため、「システム開発論文特集」（平成 25 年 10 月号）を企画致しました。言うまでもなく学会活動において要素技術や理論の研究とそれらをベースとしたシステムの開発は、車輪の両輪です。各要素技術はそれらを組み合わせで社会の要請に応える実システムとして具現化してこそ、その真価を発揮します。実システムの構築・運用で蓄積されたノウハウや利用者からのフィードバックは要素技術や理論の研究にとっても貴重な知見となります。本会では、ソフトウェア・ハードウェアを問わず企業・大学・官公庁研究機関において行われたシステム開発に関する成果をまとめた論文を「システム開発論文」と定義し、それが部分的に公知となったシステムに関するものであっても、学術論文として積極的に受け付けています。本特集を通じて、システム開発論文の位置付けを更に多くの会員の皆様に知って頂き、今後システム開発論文の投稿が更に活発化する契機となることを期待しております。是非この機会にシステムの開発に関する考察と技術的実践を取りまとめ、奮って御投稿下さいますようお願い申し上げます。

1. 対象分野

情報・システム技術全般（和文論文誌 D が対象とする全技術分野、ハードウェア・ソフトウェアを問いません。）

2. 論文の執筆と取扱い

・本特集では情報システム技術に関するシステム開発論文を受け付けます。ただし、システム開発論文の内容は幅広く捉えるものとします。査読は情報・システムサイエティ和文論文誌のシステム開発論文基準に従います。

・論文の執筆要領は、通常の投稿論文と同一です。詳細は「投稿のしおり」を御参照下さい。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html

・査読後の再提出期間が短縮される場合があること、採録論文数が多い場合は、一般論文として掲載する場合があることを御了

承下さい。

3. 投稿締切日 平成 25 年 1 月 11 日（金）厳守

4. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification Registration completion）が送信されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿（ファイルアップロード）」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-dl@ieice.org

※郵送の際は、封筒に「システム開発論文特集」を朱記して下さい。

5. 問合せ先

山田武士 NTT コミュニケーション科学基礎研究所

TEL [0774] 93-5100, FAX [0774] 93-5105

E-mail : yamada.tak@lab.ntt.co.jp

6. 特集編集委員会

委員長：山田武士（NTT）

幹事：峯松信明（東大），山口 修（東芝），和田親宗（九工大）

委員：和文論文誌 D 編集委員

7. 参考文献

以下も投稿の参考として御活用下さい。

「システム開発論文の今後に向けて」電子情報通信学会誌 平成 22 年 12 月号

「システム開発論文特集号を発行して」情報・システムサイエティ誌第 15 巻第 3 号（平成 22 年 11 月）